

作成年月日	平成23年8月17日
作成部局	農政環境部環境管理局
課室名	温暖化対策課

## 温室効果ガス総排出量のとりまとめについて

本県における H21(2009)年度の温室効果ガス県内総排出量(速報値)を、以下のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

### < 県内総排出量 >

H21 年度総排出量(速報値)は、63,484 千 t-CO<sub>2</sub> で、基準年度(H2(1990)年度)比 13.1%、前年度比 8.6%となりました。

また、H20 年度総排出量の確定値も算定しましたので、あわせて記載しています。

なお、H20 年度確定値の基準年度比 4.9%は、昨年度発表した速報値と同じ値です。

表1 県内部門別温室効果ガス総排出量

(単位:千 t-CO<sub>2</sub>)

部 門	H2 年度 (1990) 基準年度	H19 年度(2007)		H20 年度(2008)(確定値)				H21 年度(2009)(速報値) <sup>1</sup>				
		排出量	基準年 度比(%)	排出量 (構成比%)		基準年 度比(%)	前年度 比(%)	排出量 (構成比%)		基準年 度比(%)	前年度 比(%)	
二 酸 化 炭 素	産 業	47,670	49,695	4.2	46,424	(66.8)	2.6	6.6	41,543	(65.5)	12.9	10.5
	民生 (業務)	2,490	3,926	57.7	3,267	(4.7)	31.2	16.8	3,024	(4.8)	21.4	7.4
	民生 (家庭)	5,991	8,388	40.0	6,917	(10.0)	15.5	17.5	6,375	(10.0)	6.4	7.8
	運 輸	8,613	8,811	2.3	8,275	(11.9)	3.9	6.1	8,198	(12.9)	4.8	0.9
	その他 <sup>2</sup>	3,476	2,113	39.2	1,962	(2.8)	43.6	7.1	1,855	(2.9)	46.6	5.5
その他ガス <sup>3</sup>	4,793	2,721	43.2	2,615	(3.8)	45.4	3.9	2,489	(3.9)	48.1	4.8	
総排出量 <sup>4</sup>	73,033	75,654	3.6	69,460	(100)	4.9	8.2	63,484	(100)	13.1	8.6	

1 国、県等の統計データの確定を受け、値を変更することがある。

2 廃棄物焼却、エネルギー転換部門

3 CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、代替フロン等3ガス(HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)

4 京都メカニズム、森林吸収による削減分(5.4%)は含まない。

注) 推計に用いた電力排出係数 H2:0.353 H19:0.366 H20:0.299 H21:0.265(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)(関西電力(株)公表値)

< 部門毎の増減理由（平成 21 年度） >

- ・ 産 業 部 門 : 加熱炉の燃料転換（重油 ガス）や高効率ボイラーへの更新等削減対策が進んだことに加え、大幅な生産量減少等により、前年度比 10.5%
- ・ 民生(業務)部門 : 高効率空調機器やコジェネレーションシステム等の導入が進んだことに加え、電力排出係数の低下等により、前年度比 7.4%
- ・ 民生(家庭)部門 : 省エネ家電の普及や電力排出係数の低下等により、前年度比 7.8%
- ・ 運 輸 部 門 : 貨物需要の減少等により、前年度比 0.9%
- ・ そ の 他 : 廃棄物焼却量、発電所自家消費量の減少により前年度比 5.5%
- ・ そ の 他 ガ ス : SF<sub>6</sub>の漏出防止策の徹底等により前年度比 4.8%

(参考) H21 年度の条例対象事業所排出量の状況（実績値）

H21 年度の条例対象全 581 事業所の排出量は、30,935 千 t-CO<sub>2</sub> で、県内総排出量の約 49% を占める。

< 部門別排出量 >

表 2 条例対象事業所の排出量の状況 (単位:千t-CO<sub>2</sub>)

部 門	平成 20 年度 (2008)			平成 21 年度 (2009)		
	事業所 数	排出量(構成比%)		事業所 数	排出量(構成比%)	
産業	441	31,688	(93.9)	401	29,192	(94.4)
民生(業務)	181	1,066	(3.2)	158	891	(2.9)
その他(廃棄物部門等)	25	1,000	(3.0)	22	852	(2.7)
合 計	647	33,754	(100)	581	30,935	(100)

< 講じられた排出抑制措置のうち主な先進事例 >

鉄鋼業における加熱炉工程の見直し、金属製品製造業における廃熱利用バーナーを使用した炉の導入、業務ビルにおける高効率空調機器の導入など。

表 3 講じられた排出抑制措置のうち主な先進事例

区 分	排出抑制措置（先進事例）
産業部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昇温時間短縮等加熱炉工程の見直し（鉄鋼業）</li> <li>・ 廃熱利用バーナーを使用した炉の導入（金属製品製造業）</li> <li>・ 誘導灯の LED 化（一般機械器具製造業）</li> <li>・ 研削盤のインバータ化（電気機械器具製造業）</li> <li>・ 蒸気配管放熱ロスの削減（輸送用機械器具製造業）</li> <li>・ 特定フロン非使用の冷凍庫へ更新（食料品製造業）</li> <li>・ 屋根に断熱塗装（食料品製造業）</li> </ul>
民生（業務部門）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高効率空調機器へ更新</li> <li>・ 春、秋の外気冷房</li> <li>・ コジェネレーションシステムの導入</li> <li>・ 高効率照明器具の導入</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発電設備の高効率運転（廃棄物部門）</li> <li>・ 廃棄物リサイクル発電の導入（ " ）</li> </ul>

< 問い合わせ先 > 農政環境部環境管理局温暖化対策課計画係、推進係  
TEL 078-362-3273（計画係） 362-3284（推進係）